

議会だより

からうら

No.51

2010.4.30発行

31億1,000万円の —②▶③
22年度予算を可決

委員会ハイライト —④

交流活動紹介・防災シリーズ—⑤

9 議員が一般質問

—————⑥▶⑭

でけとんで～〈追跡レポート〉—⑮

スポーツクラブ紹介 —⑯



季節の花シリーズ 生名谷川 ロマン街道

「道の駅」本格着工 23年3月完成めざす

22年度一般会計当初予算

31億1千万円 (前年比)7.1%増

一般会計予算の主なもの

- 「道の駅」建設事業 …… 1億1,200万円
- 横瀬小学校耐震補強工事 …… 9,723万円
- 子ども手当 …… 8,034万円
- 保育所運営費負担金 …… 9,917万円
- 道路橋梁維持費 …… 3,300万円
(横瀬上川原橋など)

3月 定例会

21年度 補正予算

中角通学路改良工事など 三億四百万円を可決

三月定例会は十日から二十二日までの十三日間開かれ、二十一年度補正予算や条例の一部改正などについて審議し、全会一致で可決、二十二年度一般会計予算については、討論、採決の結果、賛成八、反対一で可決しました。一般質問には全議員が当初予算案などを中心に町の姿勢を問いました。



工事が進む「道の駅」

議案に対する主な質疑

問

敬老町民の集いを中止し、各地区の敬老行事に助成との内容だが、慰霊祭についても参加者が少なくなってきた。見直しを検討しては。

答

遺族会が主催で行っており、意向を十分尊重しながら検討していきたい。

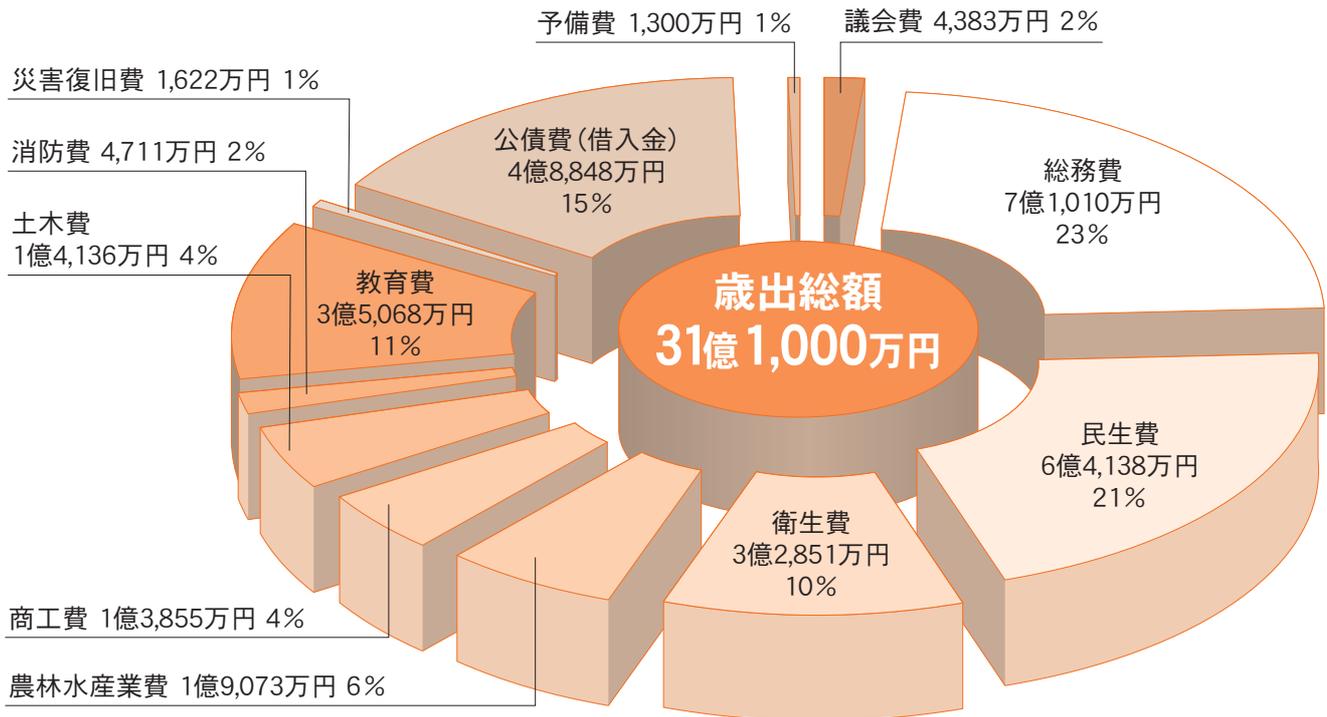
問

保育所民営化がスタートするが、職員体制等の準備は万全か。また、民営化による経費の減は千八百万円くらいの予算であったが。

答

民営化は順調にきている。運営費については国の保育料の基準が変わり、千五百万円くらいの経費節減となる。

一般会計予算(歳出)



特別会計予算総額

26億2,433万円

特別会計予算の内訳

介護保険	6億7,910万円	農業集落排水	2,516万円
簡易水道	2億1,769万円	老人保健	246万円
国民健康保険	8億57万円	勝浦病院	8億1,930万円
住宅新築資金	332万円	後期高齢者医療	7,673万円

一般会計当初予算

討論採決の結果、可決

反対 松田議員

「道の駅」関連予算、情報館の整備について、運営経費、運営管理体制、商工業者への配慮、また、隣接する人形文化交流館の整備などについての協議、説明が十分でない。予算計上は時期尚早だ。

賛成 西浜議員

「道の駅」整備大筋で合意されているが、情報館については町からの説明不足の感があり、今後、十分理解が得られるよう努力することを条件とし、原案賛成としたい。

採決

▼原案に賛成

籾、国清、森本、山野、井出、大西、森、西浜の八議員
▼原案に反対
松田議員

賛成多数で可決しました。

議員提出議案

核兵器の廃絶と恒久平和の実現を求める意見書

提出先

衆・参両院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、県選出国會議員

全員一致で可決しました。

文教厚生常任委員会

三月四日、五日と委員会を開き補正予算、当初予算などを審議しました。

院外処方への移行は総合的に判断

勝浦病院では薬の時間待ちで患者から苦情が多いため、院外処方を目指す必要があることに對し、患者病院それぞれのメリット、デメリットを総合的に判断して検討することになった。

また、診療報酬改定の影響については、再診料九十円のアップで約三百万円の増収が見込める。

町主催の敬老会を取りやめ、地区敬老会に支援金

毎年行われていた町主催の敬老会を今年度から取りやめ、各地区で実施する敬老会に対象人員一人当たり千円を支援することになった。



勝浦病院薬局窓口

勝浦中学校改築は平成二十三年度着工

勝浦中学校の改築工事は当初、平成二十二年度に着工が予定されていたが、財源や事務手続きの関係で平成二十三年度に着工する見通しとなった。

総務産建常任委員会

三月一日から三日まで委員会を開き嘆願書の処理、条例改正、補正予算、当初予算などを審議しました。

畜産団地使用料償還期間を延長

継続審議になっていた「畜産団地使用料見直しについて」の嘆願書を審議するため、委員会に代表者の出席を求め、経営状況を聞いた。厳しい畜産業を支援する観点から、使用料償還期間を十五年間延長することで採択とした。

だいたいようぶ？「情報館」

当初予算で表決 賛成三、反対一

各担当課長から二十二年度当初予算について説明があった。

特に「道の駅」の「情報館」の整備計画答申を受けての町の対応、予算の計上について中身が十分煮詰まっていないなど二日間にわたり質疑が相次ぎ、関連予算を定例会に提案することについて表決をとり賛成三、反対一で同意することとなった。

視察報告

勝浦中学校改築調査特別委員会

三月十五日、今年三月に落成したばかりの日和佐小学校の視察を行った。

多様な学習に対応できる可動式間仕切り、各教室やオープンスペースの間取りや木材を多用したぬくもりを感じさせる仕上がり、太陽光発電施設など大いに参考となった。



日和佐小学校

今山農村舞台

保存会



今山農村舞台は平成十四年に東京理科大学の川上光洋氏の発見により、全国に二カ所しかない貴重な平舞台から舟底へ転換できる機構を備えた舞台であることが明らかになった。

そこで平成十五年に地元有志により、今山農村舞台保存会を結成し、毎年春、秋の二回の公演を、主に人形浄瑠璃を中心に行っている。



昨年は勝浦座のお世話になり、恵比寿舞の頭を購入し、地元は今山座を立ち上げ初舞台を踏んだ。

夜間のみの練習でまだまだ人形の動きもぎこちなく、太夫も歌うごとに節回しが違うが、それでもみな真剣そのもの、ますます意気盛んである。

(今山農村舞台保存会 山本靖博)

防災シリーズ



救助訓練を実施

石原地区自主防災隊

石原地区は勝浦町の一番東部に位置し、人口は二一七人（七六世帯）で、西側には田園地帯が、東には果樹園が広がる山間部があり、その山のすそ野に住宅地が点在している。しかし、山は低く、当地区には流れ出す谷川はほとんどなく、地区の水利は田園部に掘られた井戸の地下水に依存している。そのため、昔から防火水源は、小さなため池などに頼ってきた。地域の防災力が非常に重要として、平成十八年十月一日に自主防災組織を立ち上げた。町の一斉防災訓練とは別に初期消火や救助訓練などを実施している。

(隊長 瀬戸正彦)

石原地区は勝浦町の一番東部に位置し、人口は二一七人（七六世帯）で、西側には田園地帯が、東には果樹園が広がる山間部があり、その山のすそ野に住宅地が点在している。しかし、山は低く、当地区には流れ出す谷川はほとんどなく、地区の水利は田園部に掘られた井戸の地下水に依存している。そのため、昔から防火水源は、小さなため池などに頼ってきた。地域の防災力が非常に重要として、平成十八年十月一日に自主防災組織を立ち上げた。町の一斉防災訓練とは別に初期消火や救助訓練などを実施している。



簡易担架による救助訓練

未来設計のキャッチフレーズは「キープタウン勝浦」

地域活性化の

イメージに（町長）

国清 一治 議員



問 スタートした二期目の中田町政。明確なビジョンと基本的な考えは。

また、勝浦は三市に隣接した地理的条件と自然・景観など恵まれた町の個性を保持している。

今後、町の施策として「福祉の町」、「子育てしやすい町」などを確保し、次

期総合計画のキャッチフレーズを「キープタウン勝浦」としてはどうか。

答 町長 現在、町の総合計画策定に向け、町の将来像を示しながら各地区を巡回している。

人口減少の抑制、少子高齢化への対応、財政運営の改革など基本とし、住民の意見を聞き、「元気なまち勝浦」の実現に向けて取り組みたい。「キープタウン勝浦」については、地域活性化のイメージなど審議会等で検討したい。

みかん再生 戦略会議の設置を

関係者の意見を聞き 検討したい（町長）

問

二月に「みかん産地活性化シンポジウム」が開かれ、みかん品評会など好評であったが、勝浦みかんのブランド化に向けた具体策は。

また、勝浦みかん再生に向けて、プロの栽培農家による「戦略会議」を設置しては。



好評だったみかん品評会

答 町長

農業情勢の厳しい中、みかんのブランド化に向け町単補助事業の充実、技術指導員採用による高品質化に取り組んできた。

今後、勝浦みかん再生に向けての会議の設置については、関係者の意見を聞いて検討したい。

「道の駅」周辺整備 人形文化交流館は

文化の交流拠点とし 整備を検討（町長）

問

「道の駅」関連の工事は着々と進んでいるが、人形文化交流館の整備は方針さえも全くできていない。今後の具体策は。

答 町長

「道の駅」は人形文化交流館と「よってネ市」を連携する施設として整備している。

今後、文化の交流拠点として人形文化交流館の整備を検討したい。

産業建設課

組織の再編を

人事管理で検討（町長）

問

事務事業の大幅な遅れで住民サービスの低下が顕著に出ている。特に基幹産業や建設関係事業が多く今後の見通しもたない。産業と建設を元の課にするなど再編してはどうか。

答 町長

事業の執行が遅れ住民に迷惑をかけている。今後、行政改革を見直すなかで課の再編、人員管理などで検討したい。



勝浦病院

医師の補充は

非常勤医師の派遣を予定

(病院事務局長)

節 公一議員



答 病院事務局長

内科医については県医療政策課と県医師会から、それぞれ一名ずつ非常勤で週一回派遣してくれる予定で、整形外科も四月から医師が派遣され、週二回の診療体制になる。

答 町長

院長と共に徳大と協議を持ち、日赤や医師会へのアプローチも行うなど常勤医師の確保に努めたい。

問 三月末で内科医が一人退職されるが、補充はどうなっているのか。現在、整形外科も週一日の診察になっているが、増やしてほしいとの要望が強い。見通しは。
また、今の医師不足の状態に対し、今後の対応は。



「道の駅」、情報館
運営計画の

策定が先では

問

「道の駅」整備に伴い、情報館が約八千万円の予算で建設される予定になっているが、中身や運営形態、収支見通しが示されていない。運営計画を策定し、それに基づいた内容で建設すべきでないか。

また、「よつてネ市」の改築効果を十分見極めてから実施してはどうか。

答 副町長

情報館整備の答申内容について町として十分検討したが、今後、人員体制や収支見直しを含めた管理運営の方針を早急に策定し、議会に提示したい。

答 町長

議会の意見を聞きながら来年三月までの完成をめざしたい。

横瀬・上川原橋

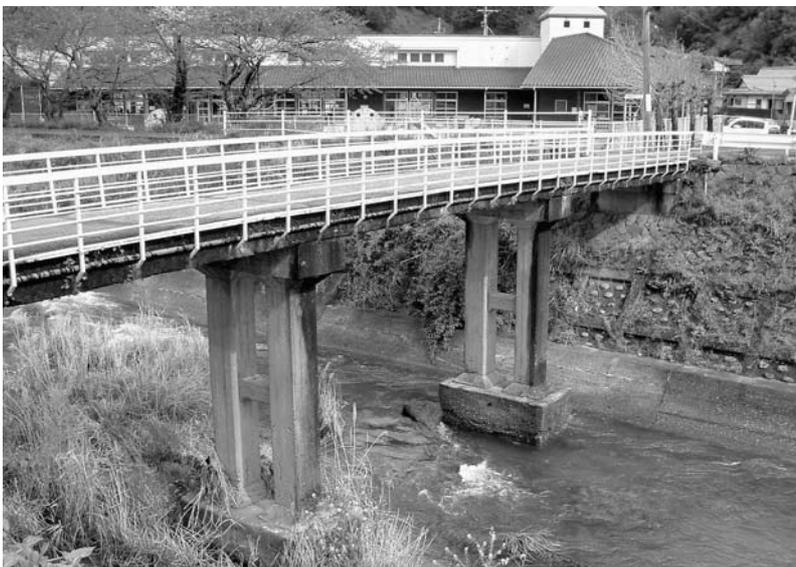
改修の内容は

問

みかん保育園南側に架かる上川原橋は、橋脚の土台部の痛みが激しく、台風のために地元消防団が出て通行止めにするなど、住民の安全性に対する不安が大きかった。

答 産業建設課長

今回、改修されることになったがその内容は、転落防止のための防護さくの取替え、床板や橋脚の補強、土台部のコンクリート巻きによる修復などを実施することにより、三十年間程度は維持できる見通しである。



増水時に通行止めになる上川原橋

苦境に立つみかん 救済策を

県に強く働きかける（町長）

山野忠男議員



土壁貯蔵庫の修理再生補助など県に働きかけては。

答 産業建設課長

二十一年度には、国補事業で八件、町単事業で八十一件に苗木購入の補助を行っている。

問 二十一年産みかんの価格は不況と豊作で低迷している。

救済策として国補・町単事業の推進、小松島勝浦地区果樹産地協議会の糖度分析装置等導入。安認証制度と「ちよぞつ娘」キャラクターの活用、アグリテクスノールの受講料補助や「徳島強い農林水産業づくり」

答 副町長

「ちよぞつ娘」キャラクターは見た目にもかわいく、アニメ人気から若者世代へのPRに期待がもてる。

帰農者やイターン、Uターン就農者にアグリテク



勝浦みかんキャラクター「ちよぞつ娘」

「道の駅」 予算の内訳は

答 町長

土壁貯蔵庫の修理再生は勝浦みかんの振興にとって重要な課題である。

「徳島強い農林水産業づくり」は県に強く働きかけて行きたい。

問

町長は所信表明で、財源の確保と事業の「選択と集中」で、「道の駅」整備を予算化しているが、その財源内訳は。

答 副町長

「道の駅」事業費、一

億一千二百万円の財源内訳は国庫補助五百万円、県補助金四千万円、過疎債四千四百四十万円、一般財源二千五百六十万円である。

ゴミ処理問題

問

緊急雇用対策事業によりゴミの不法投棄の回収をしているが、指導の徹底を。

また、各地区に分別ステーションの設置を進めているが、未設置が六カ所ある。その原因は。

答 住民課長

この事業は、不

法投棄巡回撤去マニユアルを作成し、シルバー人材センターに委託し不法投棄の回収の指導をしている。

分別ステーションの設置については、地元の協力により設置箇所、土地の確保をお願いしているが、確定にいたっていない。



子宮頸^{けい}ガン・細菌性髄膜炎 ワクチン接種に公費助成を

国や県の動向を注視し

対応したい（町長）

井出美智子議員



問 子宮頸ガンは乳ガンを抜き女性では発症率が一番高いが、ワクチンを接種することで予防できる唯一のガンでもある。半年の間に三回の接種が必要で保険が適用されず、四万円から六万円の自己負担がかかる。

県内に細菌性髄膜炎ワクチンと子宮頸ガンのワクチン

ンの公費補助を取り組んでいる事例はあるのか。

今後、住民の健康を守るため助成をしては。

答 福祉課長

子宮頸ガンのワクチン対象者は十一歳から十四歳で、一人あたり四万五千円として約三百九十万円が必要となる。

答 副町長 県内では、一町で十月から両ワクチンの公費助成を計画している。

答 町長 現在のところ助成は考えていないが、国や県の動向を注視し対応したい。

国民健康保険 減免に関する モデル事業

該当者はいなかった

（総務課長）

問

病院の窓口での支払いが困難である人に対して、減免や徴収猶予ができる制度のモデル事業を勝浦町は受けているが、適用事例はあるのか。

法的には適用基準を具体的に決め、公表しなければならぬのではないか。

答 総務課長

モデル事業での該当者はいなかった。国民健康保険法によると、異議申し立てがあった時に判断するため適用基準が必要となる。

答 病院事務局長

総合相談窓口で「年金が入るまで支払いを待って欲しい」という相談はあった。

「道の駅」 一番の問題は、集客

問

「道の駅」の問題は、情報館の建設を含めて、いかに集客をするかにある。担当者まかせにせず、役場あげての取り組みが必要だ。産業文化の交流拠点にするにふさわしい、町長の具体的な考えを聞きたい。

答 町長

「道の駅」に登録すると国土交通省のホームページに掲載され、高速道路定額制と合わせて相当なPR効果と観光客が見込め、情報館で魅力ある観光、イベント情報をタイムリーに提供することで全町的な波及効果が期待される。



オープン間近の「よってネ市」

「道の駅」

特産物の開発を

名物は必要不可欠（副町長）

森本 守議員



問 各地の建設計画で予測違いから施設の空きが出ている。「道の駅」を建設するにあたり、車の通行量などに問題はないのか。

また、勝浦独自の特産物の開発を進めるべきでは。

答 産業建設課長

平成十七年度の調査であ

るが、車の通行量は一日約六千二百台で、よってネ市の利用客は平成十七年、十八年、十九年の平均で一日約五百四十人である。

答 副町長

名物は集客の力となり、特色ある食べ物の提供は必要不可欠である。物産館における飲食のあり方については十分検討して行きたい。

ケーブルテレビ

料金の見直しを

問

ケーブルテレビのSTBチューナーの修理が増えているが、実態を把握しているのか。



使っていますか？IP電話

また、ケーブルテレビに加入していない家庭でもNHKは受信できるようにしなければならぬが、どうなるのか。

現在、加入している人でも負担に苦しみ、NTTの固定電話をやめる人が増えているが、IP電話はかかりにくく困っている。テレビだけ見る人は料金を安くできるような選べる方法にす

答 総務税務課長

事業の運営、サービスの提供、機器の修理に関する事はNTT西日本四国が対応し、年二回報告を受けていて、STBチューナーの故障は月三件から六件ある。NHKと四国放送はUHFアンテナと受信機があれば見ることができ

べきでは。



答 町長

制度をよく検討して、加入しやすい環境になるよう努めていきたい。

地籍調査について

問

地籍調査事業に遅れが出ており、今の人員体制では推進に支障があるのではないかと。また、全町完了に何年かかるのか。

答 町長

事業への取り組みが国、県の予算に対応できていないと指摘され、現在は三年ぐらいの遅れが出ている。できるだけ早く完成するよう体制を整えていきたい。完了には約三十五年かかる見込みである。

沼江バイパス

進ちよく状況は

工事は約四割完了

(産業建設課長)

森 健 議員



できるだけよう要望して行く。関連の町単工事は天川谷川と中山谷川の改修を予定している。

問 現在の進ちよく状況と新年度の取り組み見通しは。

また、関連する町単工事の予定は。

答 産業建設課長

工事の進ちよく率は約四割で新年度は主に山切りの工事を予定。今後、二十三年度の完成に向け予算確保

阿南・勝浦線 町境の県道 拡幅工事は

二十二年年度着工を
めざす(産業建設課長)

問 県道拡幅工事の見通しは。

答 産業建設課長

昨年十一月に境界立会を実施したが、公図と現地が一部合わないで遅れている。公図関係の処理を済ませ、二十二年度着工をめざしたい。

中山間地域等 直接支払い制度 耕作放棄地が目立つが

二割以上の減少予想だ

(産業建設課長)

水田や果樹園の耕作放棄地が目立ってきている。前回に比べて減少幅は。

問

水田や果樹園の耕作放棄地が目立ってきている。前回に比べて減少幅は。

また、農地のあつ旋についての取り組みは。

答 産業建設課長

一期、二期と比較すると協定者、田・畑ともに二割以上の減少が予想される。農地のあつ旋は二件の実績だが、みかん園地再編対策事業等を引き続き行い、放棄地解消に取り組みたい。

二十二年年度

一般会計予算

公約を実現(町長)

問

予算編成に選挙時の公約はどう具体化したか。

答 町長

公約実現に向けて、総合

計画策定で基本構想を示し各地域に出向き、意見等を聞かせてもらっている。中学校の改築では二十三年度着工に向け取り組んでいる。「道の駅」では情報館、周辺整備等に取り組む。農業振興ではブランド化をはじめ、町費負担の拡大や県費利用等を研究して行く。ゴミ減量化に向けては環境町民会議の開催を計画している。スポーツを通じた健康づくりにも取り組む。子育て支援も引き続き実施し、道路網の整備など積極的に取り組む。



着々と工事が進む沼江バイパス

勝浦農業

発展に向けての 取り組みは

所得増が図られる施策を（町長）

松田貴志 議員



問 「道の駅」に整備される情報館関連の予算が今議会上程されているが、周辺整備以外で町内商工業者を「元氣」にするための取り組みは。また、「よってネ市」の有効活用など勝浦農業発展に向けた新たな事業展開は。

答 産業建設課長

商工業の振興策として、商工会にプレミアム商品券に対しての補助金を出しているが、まだまだ元氣が出ていない。

また、「よってネ市」の改築に伴い会員枠が拡大され、JA、商工会、町で組織する直売所運営委員会で仕入れ品の販売実績や出荷者の高齢化に対応した支援策なども議論したい。

答 町長

全ての商店街に補助することはできないので、「道の駅」の経済波及効果が行き渡るように十分検討し、方策を考えたい。そのためにも商工会に「元氣なかつ

うら」の魅力を発信し、先導的な役割を果たしてもらい、商工業の活性化のための提案も出して欲しい。農業振興については、「勝浦みかん」のブランド化など、所得増が図れる施策を展開したい。

所信表明を受けて

若者の定住対策は

住環境整備の推進体制

づくりに取り組み

（町長）

問

スポーツを通じた成人病対策とは具体的にどういったものなのか。

また、若者の定住対策については、一月の町長選挙当選直後、住宅整備について語っていたが、どのように取り組んで行くのか。

答 町長

二十一年度、生活習慣病対策に主眼をおいて、県のモデル事業をキーフレンズで実施した。参加者から非常に好評だったことから、健康づくりや成人病対策への効果を検証し、特定保健



K-Friendsで成人病対策を

指導でのスポーツクラブの役割を含め、幅広く検討したい。

また、町民との対話の中で若者向けの住宅が必要との声が多くあり、勝浦に住み、隣接する三市などの職場に通ってもらうことで、人口減少を抑制したい。

今後は、空き家の情報提供、遊休町有地を利用した宅地分譲や低家賃の郊外型

■その他の質問

○社会（青年）教育の現状と今後の取り組みについて

中田町政二期目の抱負 町づくり構想の基本は

定住できる町に（町長）

大西 一司 議員



住みやすく定住できる町をめざす。特に若者定住のための施策を講じて行きたい。高齢者対策は、医療・福祉・保険等の生活保障の充実を図って行く。

また、行財政運営も実施計画等の中でさらに綿密な計画を立て推進して行きたい。

問 所信表明で今後の町づくりの方向性として、人口減少の抑制、少子高齢化社会への対応、行財政運営の変革を唱えているが、具体的な基本構想は、

答 町長 町内で住み、近隣市で働きやすい環境づくりに取り組み、自然環境を守りながら住環境、社会基盤を整備し、

また、管理運営方法は、

答 副町長

情報館の整備計画は、

休憩所機能、観光や道路などの情報提供機能、特産品の販売や飲食提供機能、市民の交流機能の四つの機能を持った施設として整備活用して行く。

また、管理運営については開設から一年間は町が直営で行い、その後については十分協議、検討して決定したい。

基本方針を示す

企画室を設置しては

検討して行きたい

（町長）

問

現在、「道の駅」の管理運営方法や町長が唱えている若者の定住策、町営住宅の跡地利用等、町の重要な将来構想の基本方針を検討する企画室を設置しては。

答 町長

現在、業務が多岐にわたる大規模なプロジェクトやイベントが多い中、各課の

中角通学路

進ちよく状況は

中角谷川の

改良工事に着手

（産業建設課長）

問

今回の補正予算で五千六百万円が計上されているが、工事内容は、

答 産業建設課長

中角谷川約三百メートルを改良する。歩道部分については県の用地交渉が終了次第、ボックスカルバートの敷設工事を計画している。

その他の質問

- 地籍調査の執行体制について
- 農業政策について
- 新教育長の抱負について



改良予定の中角谷川

新年度予算三十一億円

執行体制は十分か

全力で事業推進（町長）

西浜勝己議員



ないのか。

答 町長

大きな事業を抱えているので、職員体制の再構築を検討し事業推進に全力をあげたい。

答 総務税務課長

新政権は「コンパクトから人へ」など地域主権をかかげ地方交付税の増額、過疎法の六年間延長、農家の個別所得補償、子供手当など打ち出している。事業仕分けによる事業の遅れ、農免道の減額など心配している。

問 二期目の町長の所信表明、重点施策九項目は、きれいな言葉の表現だが具体性に乏しい。総額三十一億一千万円の執行で、住民サービス低下にならないような体制づくりはできているのか。また、政権交代後の初めての当初予算で、前政権より良くなったのか。心配は



温泉掘削に成功した「喜楽の湯」

「喜楽苑」温泉水 効果的活用を

法人と協議し 有効利用を（町長）

問

「勝寿会」で待望の温泉掘削に成功し、三十一℃の単純アルカリ性で「喜楽の湯」と命名され湯量も豊富と聞く。

温泉水の効果的な利用について施設にお願いしては、

答 町長

今後、温泉水の有効利用

答 病院事務局長

温泉水の余量があれば、病院の入浴、リハビリなどに利用できるよう協議してお願いしたい。

限界集落への対応は

限界集落への対応は

問

勝浦町の人口は十年後に五千人くらい

になると言われている。

昔、立川地区では小学校の分校や診療所があったが、イノシシやサルなどの被害も多く、限界集落になっている。今後の各地区への対応策は。

答 町長

集会所や町道の整備を進めて行くなかで、地域の人の要望を聞き対応したい。

棚久水道の整備 作業工程と完成時期は

問

新年度で棚久水道の暖速ろ過装置の整備が行われるが、今後の作業工程と完成時期は。

答 産業建設課長

四月に補助金の申請、五月下旬に交付決定され、六月下旬に実施設計に入る予定である。十月中旬に工事を発注し、来年の三月に完成の予定である。

その他の質問

○歩き遍路の対応策は



定例会における各議員からの一般質問で「答弁しながらできていないこと」は見逃さないよう、広報委員は追跡する。

行財政改革「集中改革プラン」

検証も見直しもせず

二十一年三月議会

問

行財政改革の推進により成果も出ているが、住民のサービスの低下など弊害も出ている。

集中改革プランは二十一年度で期限を迎えるが、検証して見直し継続するのか。

答

集中改革プランの中に達成できていないこともあるので、十分検証し見直し二十二年度から行財政改革を進めたい。

追跡

集中改革プランは、平成十七年度に他町村より早く策定された五年間の計画で

行財政改革の根幹をなしている。計画の冒頭に「最終年度を検証・調整の年度とする」と明記されている。

今年三月議会において指摘されたが「新年度早々検討する」との答弁。

「隗より始めよ」との行財政改革が宙に浮いている。早期の対応を強く求めたい。

「進まない地籍調査」

できていない職員体制

二十一年六月議会

問

町長は地籍調査について、二十一年度に棚野地区を完了し、中山

地区に着手すると所信で述べていたが、予算は六百九十万円しかない。隣の上勝町では一億二千万円を確保している。なぜそうなった

答

国・県の予算は大幅に増額されているが、町では実施地区の移行時期とも重なり、地元の協力体制や、担当事務職の執行体制が不十分で、残念だが予定の予算化ができなかった。

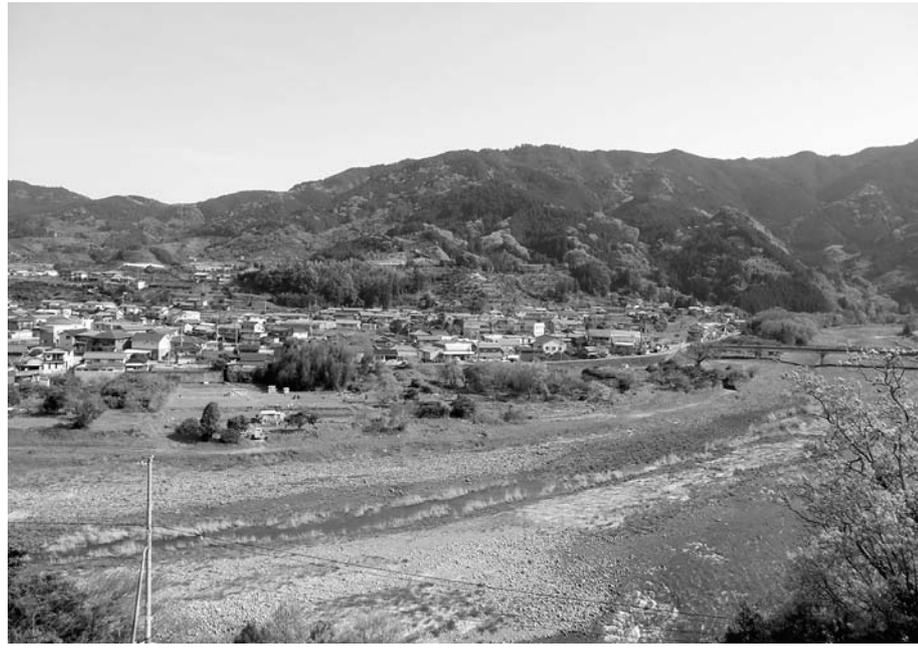
今後、職員体制を早急に整え、早く全地区の調査ができるよう取り組みたい。

追跡

この事業は全町・全地区

の地籍を調査するもので、棚野地区から始まり六年間で完了した。続いて中山地区となっているが実質的な調査には入っておらず、現時点で三年程度遅れており、今だ職員体制も具体化されていない。

事業推進のため今後も追跡を続けたい。



地籍調査が完了した棚野地区



K-Friends

会員数371人
(3月31日現在)

ケーフレンズ



「リラックスヨガ」教室

勝浦町に総合型地域スポーツクラブ「K-Friends」が誕生して1年を迎えました。「議会だより」では、スタートから各教室の紹介をしてきましたが、今回のグループは「リラックスヨガ」の教室です。



森本郁代先生

リラックスしてゆったりとポーズをと
ることで、ヨガでは自分自身と向きあ
て行きます。からだは軽く、強くしなや
かになり、気分もスッキ
リそう快になります。
楽しく生き生きと美しく
ハッピーな毎日を過ごす
ため始めてみませんか。

インタビュー

この教室に参加したきっかけ、楽しいことなど！

- ヨガは骨盤を正常な位置に戻すと聞き参加。先生の指導は分かりやすく、リラックスして翌日は体調がいい。 **〈Hさん〉**
- 楽しく続けられるものとしてヨガを選んだ。いつかきれいなポーズを決めたい。 **〈Yさん〉**
- 先生のような魅力的なスタイルをめざして。リラックスして心身の若返り。 **〈Sさん〉**
- 他人との競争ではない。無理なく続けること。 **〈Oさん〉**
- マイペースで無理をせず、自分のからだに向き合い楽しく。 **〈Kさん〉**

練習

毎週木曜日 午後7時30分～8時30分
場所：沼江コミュニティセンター

問い合わせ・申し込み先

K-Friends事務所(町民体育館、改善センター)
電話 0885-42-3671
FAX 0885-42-3300
E-mail kfriends@27.fan-site.net
<http://kfriends.fan-site.net/index.html>



今、国では政権交代がおき「命を守る政治」との旗印のもと、いろいろな政策が出されているが、一般庶民が実感できるにはまだ時間がかかりそうである。

以前に一度耳にして気に入っていた詩を先日再びラジオで聞いた。「あなたが産まれた時、あなたは泣いていたが、周りの皆は笑っていた。あなたが死ぬ時、周りの皆は泣いていたが、あなたは笑っていた」

地方行政も万人にやさしくなければいけないが、やはり自分が満足いく人生を送るのは自分次第である。

(公一)

編集後記

